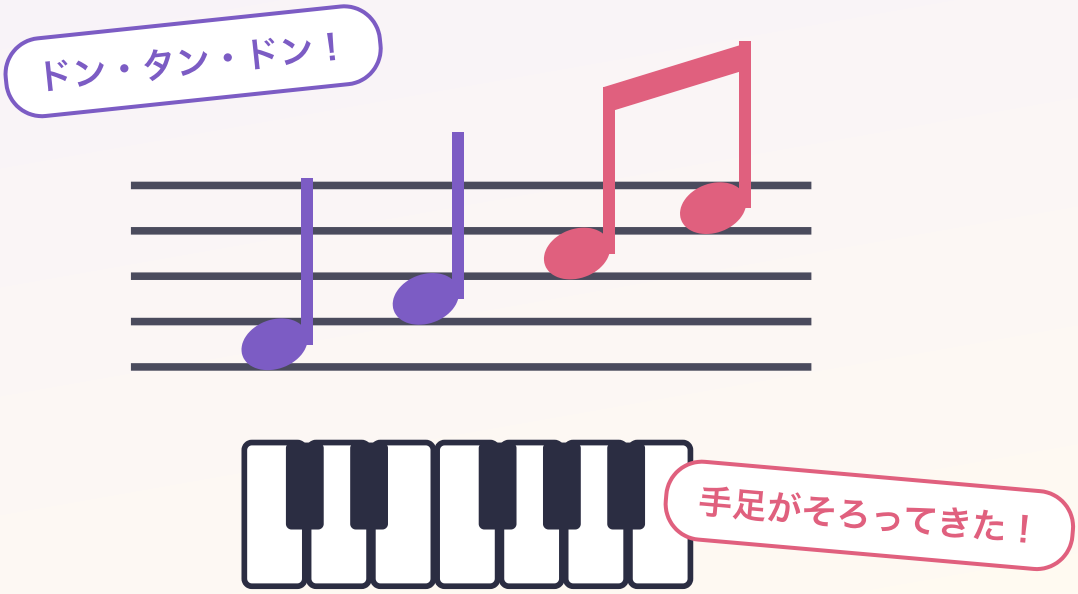
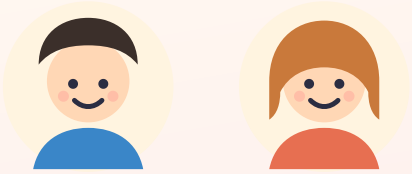
Season 5 | No.47



ドラムの基本

リズムの土台を、たたいてつくる



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ドラムセットを知る 3〜4
パーツの音 5〜9
基本のビート 10〜12
演奏の工夫 13〜16
ドラムを楽しむ 17〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

ドラムセットの名前

ドラムセットの各パーツの名前を知ろう。

ドラムセットは、**バスドラム・スネアドラム・ハイハット・シンバル・タム**などを組み合わせた打楽器です。
1人でいくつもの太鼓やシンバルを同時に演奏できるのが、ドラムセットの大きな特徴です。



バスドラム
床に置く大きな太鼓。足でたたく

スネアドラム
パチッとした音の太鼓。両手でたたく

ハイハット
2枚の金属の板を組み合わせたシンバル

シンバル
叩くと余韻が長く響く金属の板

タム
バスドラムより高い音の太鼓

スローン
ドラムを演奏するときにすわるいす

ポイント

- それぞれのパーツがちがう音色を持ち、組み合わせてリズムをつくります。
- 初めて見ると複雑に見えますが、パーツごとに役割を覚えると整理できます。

やってみよう

1. ドラムセットの写真や動画を見て、パーツの名前を確認しよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
2-3

スティックの持ち方・すわり方

基本の姿勢を身につけよう。

ポイント

- スティックは、親指と人差し指で軽くはさみ、残りの指をそえて持ちます。
- 力を入れすぎず、はねかえりを利用してたたくと、良い音が出ます。
- いすには深く座りすぎず、足がペダルに届く高さに調整します。



Ken
スティックをぎゅっと握りしめちゃう。

Emma
力を抜いて、はねかえりを感じてみて。音がちがうよ。



やってみよう

1. スティックを軽く持ち、机の上でトントンとはねかえりを感じてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 4

バスドラム

低く重い音を出すパーツを知ろう。

バスドラム
bass drum
足のペダルでたたく大きな太鼓

キック
kick
バスドラムを踏むこと

ポイント

- バスドラムは、右足でペダルを踏んで音を出します。
- 低く重い音で、リズムの土台を支えます。

やってみよう

1. 床を足でトンと踏んで、バスドラムの音をイメージしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 5

スネアドラム

リズムの要となる太鼓を知ろう。

スネアドラム

snare drum

パチッとした音が特徴の太鼓

ポイント

- スネアドラムは、裏側にある「響き線」という金属の線がパチッとした音を出します。
- 多くのリズムで、2拍目と4拍目にたたかれることが多い太鼓です。

やってみよう

1. 机を手のひらでパチンとたたいて、スネアドラムの音をイメージしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 6

ハイハット

リズムを刻む金属の音を知ろう。

ハイハット

hi-hat

2枚のシンバルを組み合わせた道具

ポイント

- ハイハットは、足のペダルで開け閉めしながら、スティックでたたきます。
- 閉じたときはチッという短い音、開いたときはシャーンという長い音になります。

やってみよう

1. 「チッ・チッ・チッ・チッ」と声に出しながら、指で一定のリズムをたたいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 7

シンバル

曲を盛り上げる音を知ろう。

シンバル

cymbal

たたくと余韻が長く響く金属の板

クラッシュシンバル

crash cymbal

サビや曲の節目で1回強くたたくシンバル

ポイント

- シンバルは、曲の盛り上がりや区切りを強調するために使われます。
- たたきすぎると音楽がうるさくなるため、ここぞという場面で使います。

やってみよう

1. 曲の中でシンバルが鳴っていそうな場面を1つ想像して書こう。

書いて覚えよう

Lesson 8

タム

高さのちがう太鼓を知ろう。

タム

tom

バスドラムより高い音の太鼓

フロアタム

floor tom

タムの中でも低めの音の太鼓

ポイント

- タムはいくつか並べて設置されることが多く、高さのちがう音を出せます。
- フィルインなど、変化をつけたい場面でよく使われます。

やってみよう

1. 机のちがう場所を手でたたいて、音の高さのちがいを感じてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 9

8ビート

基本のリズムパターンを覚えよう。

基本の8ビート



8ビートは、多くのポップスで使われる基本のリズムパターンです。

ポイント

- 8ビートは、ハイハットを均等に刻みながら、バスドラムとスネアドラムを組み合わせます。
- まずはこのパターンを正確にくり返せるようになりましょう。

やってみよう

1. 机をたたいて、上のパターンをゆっくりから練習してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 10

16ビート

より細かいリズムパターンを知ろう。

ポイント

- 16ビートは、8ビートよりも細かく音を刻む、より複雑なリズムパターンです。
- ファンクなど、ノリの強いジャンルでよく使われます。

やってみよう

1. 8ビートと16ビート、どちらがより細かい刻みか考えて書こう。 _____

書いて覚えよう

Lesson 11

フィルイン

場面を変える合図となるリズムを知ろう。

フィルイン

fill-in

場面の変わり目に入れる、いつもとちがう短いリズム

ポイント

- フィルインは、曲の区切りに変化をつけ、次の場面への合図となります。
- タムを使ったフィルインは、特に効果的でよく使われます。

やってみよう

1. 曲の区切りで、いつもとちがうリズムを1つ考えて書こう。

書いて覚えよう

Lesson 12

強弱のつけ方

音の大きさで表現しよう。

ポイント

- 静かな場面では小さく、盛り上がる場面では大きくたたくと、曲の表情が豊かになります。
- 強弱は、腕の振り幅を変えることでコントロールできます。

やってみよう

1. 同じパターンを、小さく・大きくの2通りでたたいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
13

テンポキープ

安定したテンポを保とう。

ポイント

- ドラムは、バンドやアンサンブル全体のテンポを支える役割を持ちます。
- 一定のテンポを保つ力は、他のどの技術よりも大切といわれています。

やってみよう

1. メトロノームに合わせて、8ビートのパターンをたたいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 14

リズム譜の読み方

太鼓の楽譜を読めるようになろう。

ポイント

- ドラムの楽譜は、五線の位置ごとに「バスドラム」「スネア」などの担当が決まっています。
- 音の高さではなく、どのパーツをたたくかを表す記譜法です。

やってみよう

1. ドラムのリズム譜を見る機会があれば、どのパーツか確認してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 15

ドラムの練習台

音を出さずに練習する方法を知ろう。

練習パッド

practice pad

音を小さくして練習できる道具

ポイント

- 練習パッドを使うと、大きな音を出さずに手の動きを練習できます。
- マンションなど音が気になる環境でも、基本の練習は続けられます。

やってみよう

1. 机や座布団など、身近なものをドラムの代わりにたたいて練習してみよう。

書いて覚えよう

Lesson
16-17

メトロノームと練習・曲に合わせてたたく

機械や曲に合わせて演奏しよう。

ポイント

- メトロノームに合わせる練習で、テンポを保つ力を鍛えられます。
- 慣れてきたら、実際の曲に合わせて8ビートをたたいてみましょう。

やってみよう

1. 好きな曲をかけながら、机で8ビートのパターンをたたいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 18

ドラムの役割

バンドの中でのドラムの働きを知ろう。

ポイント

- ドラムは、曲全体のテンポとリズムの土台をつくる役割を持ちます。
- 他の楽器は、ドラムのリズムを頼りに演奏を合わせることが多いです。

やってみよう

1. ドラムがなかったら曲はどう聞こえると思いますか。想像して書こう。

書いて覚えよう

Lesson 19

ドラムで1曲

1曲通してたたく経験をしよう。

ポイント

- 最初は短いフレーズのくり返しでも、1曲通してたたけると大きな達成感があります。
- むずかしい部分は、その部分だけを取り出して練習しましょう。

やってみよう

1. 好きな短い曲を1曲選び、8ビートで通してたたいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

8ビートと16ビートをくらべよう。

くらべるところ	8ビート	16ビート
刻みの細かさ	ふつう	細かい
感じ	シンプル	ノリが強い
合わせやすさ	_____	_____

ポイント

- 聴きくらべると、リズムパターンのちがいがよく分かります。

やってみよう

1. 8ビートと16ビートの曲をそれぞれ思い浮かべて、感じのちがいを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

仲間とリズムを合わせよう。

A （8ビートをたたく）バス・ハイ・ハイ・スネア

B （合わせて手拍子）タン・タン

A （フィルインを入れて）＿＿＿＿＿＿

B （合わせて）＿＿＿＿＿＿

A （役割を交代して）＿＿＿＿＿＿

B （合わせて）＿＿＿＿＿＿

ポイント

- ドラム役と手拍子役に分かれて練習すると、リズムの重なりを体験できます。

ワンポイント ゆっくりのテンポから始めて、少しずつ速くしましょう。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきの原因と直し方を知ろう。

つまずき

よくあること

手足がバラバラになる
慣れていない

だんだん速くなる
力が入りすぎる

音が単調になる
強弱をつけていない

コツ

こうしてみよう

片手ずつ練習する
段階的に慣れる

メトロノームを使う
テンポを保つ

強弱を意識してたたく
表現を豊かにする

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいのは？ _____

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

パーツの言葉

- ☐ **バスドラム**
  足でたたく大きな太鼓
- ☐ **スネアドラム**
  パチッとした音の太鼓

パーツの言葉2

- ☐ **ハイハット**
  2枚のシンバルを組み合わせた道具
- ☐ **タム**
  バスドラムより高い音の太鼓

リズムの言葉

- ☐ **8ビート**
  基本のリズムパターン
- ☐ **フィルイン**
  場面の変わり目に入れる短いリズム

練習の言葉

- ☐ **練習パッド**
  音を小さくして練習できる道具
- ☐ **テンポキープ**
  一定の速さを保つこと

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

バスドラム	ア. 場面の変わり目に入れる短いリズム
スネアドラム	イ. 音を小さくして練習できる道具
ハイハット	ウ. パチッとした音の太鼓
フィルイン	エ. 足でたたく大きな太鼓
練習パッド	オ. 2枚のシンバルを組み合わせた道具

2. ドラムセットのパーツを3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 場面の変わり目に入れる短いリズムを何という？

1. _____

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	ドラムセットのパーツの名前が言える	知識の力
☐	8ビートをたたける	基本の力
☐	メトロノームに合わせてたたける	テンポの力
☐	強弱をつけてたたける	表現の力
☐	1曲通してたたいてみた	経験

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、ドラムに親しもう。

朝

歯みがきしながら8ビートを口ずさむ

移動中

好きな曲のドラムパートに注目して聴く

すきま時間

机で8ビートのパターンをたたく

夕方

メトロノームに合わせて練習する

夜

今日気づいたことをノートに書く

週末

家族の前で1曲通してたたいてみる

ポイント

- 少しずつでも、続けることでリズム感が育ちます。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

たたいた演奏を人に伝えよう。

たたいた曲	
使ったパターン	
工夫したこと	
聴いてほしい人	

Kenの例

たたいた曲 好きな曲のイントロ／使ったパターン 8ビート／工夫したこと フィルインを1回入れた／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① ドラムをたたいてみて、〜な感じがしました。② とくに、〜のところがむずかしかったです。③ それは、〜だからです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

ドラムの世界をさらに広げよう。

もっと知りたい人へ

動画で
本物のドラム演奏を見る

楽器店で
実際のドラムセットにふれる

音源で
好きな曲のドラムを聴き込む

次のステップ

ベース
低音でリズムを支える楽器

アンサンブル
仲間と音を合わせる力

発表会
人前で演奏する経験

ポイント

- この教材の次は、低音でリズムを支える「ベースとリズム」です。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. ドラムセットとは、どんな楽器ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん練習になったのはどのページ？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから挑戦してみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

ドラムミッションカード

MISSION 1
8ビートのパターンを覚える

MISSION 2
メトロノームに合わせて練習する

MISSION 3
好きな曲のドラムパートに注目して聴く

MISSION 4
家族の前でたたいてみる

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson
34

ドラムの基本チャレンジ

教室の外でも、ドラムのリズムを楽しもう。

覚えよう

8ビートのパターンをたたけるようにする

聴こう

好きな曲のドラムに注目して聴く

伝えよう

気づいたことを家族や友だちに話す

こたえ

L26 バスドラム→エ スネアドラム→ウ ハイハット→オ フィルイン→ア 練習パッド→イ　2. バスドラム ／ スネアドラム ／ ハイハット　3. フィルイン

L33 （例）ドラムは、複数のパーツを組み合わせてリズムの土台をつくる打楽器。

書いて覚えよう

ドラムの基本（Season 5 ｜ No.47）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。